

お知らせ

INFORMATION

No.2022-32
2022 年 10 月
病体生理研究所

新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。

何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託項目について】

- ◆ 単純ヘルペス DNA 定量（血液）〔16409〕 ...検査実施施設 S
- ◆ 単純ヘルペス DNA 定量（髄液）〔16410〕 ...検査実施施設 S
- ◆ 水痘・帯状ヘルペス DNA 定量（血液）〔16239〕 ...検査実施施設 S
- ◆ 水痘・帯状ヘルペス DNA 定量（髄液）〔16240〕 ...検査実施施設 S

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2022 年 10 月 31 日（月）受付分より

【新規項目情報】

項目名称	単純ヘルペス DNA 定量（血液）	単純ヘルペス DNA 定量（髄液）
コード	16409	16410
検体材料	EDTA-2Na 血液 5mL	髄液 0.7mL
保存安定性	冷蔵（10 日）	絶凍（1 か月）
検査方法	PCR（リアルタイム PCR 法）	
基準値・単位	2.0×10^1 未満 コピー/ 10^6 cells	1.0×10^2 未満 コピー/mL
所要日数	3～6 日	
実施料 （区分）	450 点（D023 16）	
判定区分	150 点（微生物）	
備考	* 検体採取時の注意 ・血液検体は凍結保存を避けてください。 ・他項目との重複依頼は避けてください。 ・本検査方法では、コンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取扱いに充分ご注意ください。 * 検査実施料に関わる留意事項 ・免疫不全状態であって、単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染症が強く疑われる患者を対象としてリアルタイム PCR 法により測定した場合に一連として 1 回のみ算定できる。	

HSV は、初感染・回帰発症として年齢、1 型、2 型のウイルス別、基礎疾患の有無から、新生児ヘルペス、性器ヘルペス、ヘルペス脳炎、ヘルペス性角膜炎、カポジ水痘様発疹など多彩で重篤な示すことで知られています。特に新生児ヘルペス、ヘルペス脳炎は重篤で予後不良なことが多いです。

定量的 PCR を用いた報告では、年長児や成人のヘルペス脳炎では急性期 $10 \times 2 \sim 10 \times 4$ コピー/髄液 1mL の HSV DNA が検出され、治療開始とともに減少し 10～14 日で感度以下になり、一方、新生児ヘルペス中枢神経型では $10 \times 3 \sim 10 \times 5$ コピー/mL と多量のウイルスゲノムが存在するということです。

参考文献：Stevens J:実験医学 15-7S-728～733 1997（測定法文献）

Ito Y et al:Clinical Infectious Diseases 30-185～187 2000（臨床意義文献）

項目名称	水痘・帯状ヘルペス DNA 定量 (血液)	水痘・帯状ヘルペス DNA 定量 (髄液)
コード	16239	16240
検体材料	EDTA-2Na 血液 5mL	髄液 0.7mL
保存安定性	冷蔵	絶凍 (1 か月)
検査方法	PCR (リアルタイム PCR 法)	
基準値・単位	2.0×10^1 未満 コピー/ 10^6 cells	1.0×10^2 未満 コピー/mL
所要日数	3~6 日	
実施料 (区分)	450 点 (D023 16)	
判定区分	150 点 (微生物)	
備考	* 検体採取時の注意 ・血液検体は凍結保存を避けてください。 ・他項目との重複依頼は避けてください。 ・本検査方法では、コンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取扱いに充分ご注意ください。 * 検査実施料に関わる留意事項 ・免疫不全状態であって、単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染症が強く疑われる患者を対象としてリアルタイム PCR 法により測定した場合に一連として 1 回のみ算定できる。	

参考文献 : Kimura H et al : The Journal of Infectious Diseases 178 : 310 ~ 317, 1998. (測定法文献)

以上